

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2001-501063

(P2001-501063A)

(43) 公表日 平成13年1月23日 (2001.1.23)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テマコード (参考)

H 0 4 L 1/00
29/02

H 0 4 L 1/00
13/00

A
3 0 1 B

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 45 頁)

(21) 出願番号 特願平10-515324
(86) (22) 出願日 平成9年9月26日 (1997.9.26)
(85) 翻訳文提出日 平成11年3月29日 (1999.3.29)
(86) 国際出願番号 P C T / F I 9 7 / 0 0 5 8 1
(87) 国際公開番号 W O 9 8 / 1 3 9 6 5
(87) 国際公開日 平成10年4月2日 (1998.4.2)
(31) 優先権主張番号 9 6 3 8 7 0
(32) 優先日 平成8年9月27日 (1996.9.27)
(33) 優先権主張国 フィンランド (F I)

(71) 出願人 ノキア オーユーイー
フィンランド国、エフィーエン-00130
ヘルシンキ、エタレエスプラナディ 12
(72) 発明者 シデーナー、マッティ
フィンランド国、エフィーエン-33720
タンペレ、ラータボルク 1 ベー 24
(72) 発明者 ベーネーネン、マウリ
フィンランド国、エフィーエン-33720
タンペレ、インシネーリンカトゥ 48 ア
ー 23
(74) 代理人 弁理士 石田 敬 (外4名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 デジタル音声受信機におけるエラー隠蔽

(57) 【要約】

デジタル音声受信機が、復号化とエラー隠蔽とのために、受信したフレームを一時的に記憶する。復号器内の再構成ブロック (14) が、最新の受信フレーム (+c n n x t) が未復号化のままである読出しウィンドウ (43) を使用して、記憶されたフレームを読み出す。現在フレーム (0) の正当性が検査され、考えられ得るエラーがウィンドウ内の他のフレームの対応するデータを使用して隠蔽されるように、復号化が行われる。エラーの検出は、チェックサム (19、26) と、上記フレームのある一定の部分内のビット組合せの許容値とに基づいている。これに加えて、受信機は、信号のビットエラー率に関する推定値 (60) を維持し、エラー隠蔽アルゴリズムの演算を制御するためにその推定値を使用する。

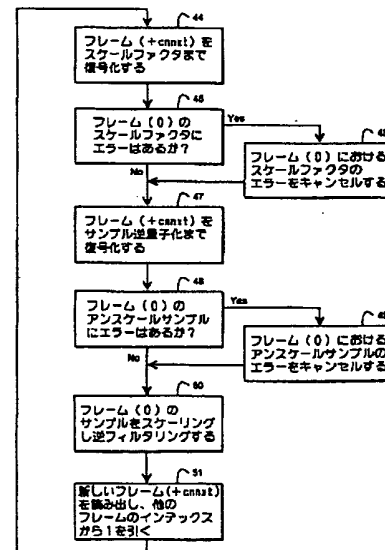


Fig. 6